

大阪 入荷確保に向けて堅調様子見の展開

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は堅調ムード。電炉側にとっては入荷促進の手を緩めにくい状況が続くものの、今週は炉休入りも見られるほか、海外市場の上伸にも勢いがなくなりつつあるため、上昇展開にブレーキがかかり始めている。21日時点の地区H2実勢値は5万3000~5万3500円見当で推移している。

先週16日の値上げを唯一見合わせてきた共英製鋼が21日から一律500円の値上げを実施し、漸く上げ一巡の動きを見せた。複数の電炉筋が入荷底上げもしくは高位安定に向けて、実勢以上の価格を提示して入荷促進を図っている。上級品種を中心に湾岸への流出が引

き続き残り、これが電炉入荷の安定感を欠かせていることで、需給タイト感がいまだ解消されてこない。また、輸出市場もベトナムミルとの商談が行われていることで、市況は堅調気配を持続する動きにある。

ただ、今週と来週に2社がそれぞれ炉休を予定しており、在庫積み増しが図りやすい環境にある。昨年と同様に、5月の連休操業を部分的にとどめるところもあるほか、米国市場の下落で海外の上昇に一定のブレーキがかかり始めてきたことで、「需給、海外両面でも上値は重たくなりつつあり、ピーク化には着実に近付いている」(電炉購買担当者)との指摘が聞かれる。

新断バラ相場 メーカー、湾岸の積極対応残り堅調ムード

(大阪) 新断バラ相場は堅調気配。湾岸の積極集荷や発生難が荷動きをいまだ不安定ものとしており、需給タイト感は解消されてこない。

1月後半から他の品種以上に新断類の買値が先行して切り上がった結果、実勢5万7500~5万8500円を付け、年初からの上げ幅は1万2500円がたに達している。湾岸筋では電炉高値と同水準での集荷を行い、市中から電炉、湾岸への出荷分散が続いていることが、双方の

需要を満たし切れないものとしておりタイト化は一向に解消されてこない。

一方、電炉側からは日によって入荷バラつきが指摘されながらも、先月後半にかけて安定した入荷を取り込めていたこともあり、過度な需給不安は聞かれない。来週には大口需要家の一部で操業を休止する予定にあるため、「強含みに変わりが無いが、先行きに以前のような期待は持ちにくい」(商社)との声が聞かれる。

ONE LIVE、金属スクラップ在庫管理システムのプレリリース開始

(兵庫) 金属リサイクルやアプリの開発を手掛けるONE LIVE (ワンライブ、本社=兵庫県尼崎市、土肥容高社長)はこのほど、金属スクラップの加工業務管理を実装したクラウド型販売・在庫管理システム「MetalLive Stock (メタライブストック)」の開発時から協力を得ていた金属スクラップディーラー数社に対し、同システムのプレリリースを開始した。

同システムは金属スクラップの在庫管理をDX化させたもの。金属スクラップの入荷・仕入れ、買い掛け・支払い、売り掛け・売り上げなどを顧客別に管理でき

る。また切断や破砕などの加工を必要とする金属スクラップの場合、加工に関わる費用を同システムに入力することで、金属スクラップの仕入れから出荷時までの全ての工程に関する原価を算出することも可能だ。

同社は環境展で同システムを公開し、多くの金属リサイクル業界の関係者から大きな反響が寄せられた。これを踏まえ、会場で接点を得た金属スクラップディーラーに対して同システムを説明したところ、業務効率化に期待できるとしたことから、プレリリースの開始を決めた。同社によれば、導入した企業から「加工前と加工後の原価が分かることは画期的」「金属スクラップに特化しているので使いやすい」などの声が上がっているという。土肥社長は「今回のプレリリースを通じ、得られた情報をもとに正式なリリースに向けて、開発に取り組んでいく」と語る。

こうした中、同社は昨年10月に鉄リサイクル工業会の賛助会員に加盟。さらに4月には軽金属同友会の賛助会員に加盟し、今後は関西非鉄リサイクル協同組合の賛助会員にも加盟する予定で、活動範囲を拡充していく考えだ。土肥社長は「金属リサイクル業界のDX化と発展に貢献するため、システムの周知にも注力していきたい」と今後の方針を示している。



専用サイトはこちら

製鋼原料
ギロチンシャー
プレス加工

- ギロチン材、鋼ダライ粉
- 新断くず
- ステンレス、その他非鉄全般

高価大量買付け



ISO14001認証取得



MIURA METAL CORP.

三浦金属株式会社

本社 大阪市西淀川区佃 4-3-12
TEL 06 (6471) 1038 (代)
FAX 06 (6471) 2559